

### 会計年度任用職員の処遇改善について

Q 会計年度任用職員に対し、期末手当2.6月分を支給する考えはないか。

A 当市では全ての会計年度任用職員に期末手当を支給しており、処遇面においても任用の上限を設けないなどの配慮を行っている。

### 原発再稼働について

Q 柏崎刈羽原発の再稼働について市長の見解を問う。

A 検証結果を踏まえ知事が判断するものと承知しており、三条市長としてのコメントは差し控える。

### 防災行政無線について

Q 防災行政無線が聞こえづらい地域への対応について問う。

A 放送と同時に市のホームページへ放送内容を掲載したり自動電話応答サービスを行っている。また、燕三条エフエム放送への割り込み放送でもお伝えしている。



4月に開学する三条市立大学

の選択肢を広げるためにも開拓に取り組んでいる。

Q 就労の場としてU-1、Jターン

A 多種多様な仕事と就職先の多さを最大の魅力と捉え、移住促進に取り組んでいる。経済的な負担軽減につながる移住・定住支援事業補助金で支援している。

Q まちづくりで燕三条駅周辺の道路や公園の環境整備はどうか。

A 市道大島164号線の新設。PFI制度を活用した須頃郷第一号公園の整備に燕市とともに取り組んでいる。

Q 障がい者の農福連携による就労支援の現状はどうか。

A 2つの事業所で農作物栽培を実施しており、障がい者福祉活動サポート交付金等による販路開拓支援や工賃アップの取り組みを支援している。

### 熊出没多発への対応として緩衝帯を設けることやナラ枯れの防止策として杉を伐採しナラなどを植樹してはどうか。

Q 熊出没多発への対応として緩衝帯を設けることやナラ枯れの防止策として杉を伐採しナラなどを植樹してはどうか。

A 緩衝帯の整備等は実施した地域からは効果があると報告されている。ナラ枯れは、天然林を予防措置することは現実的に難しいが、植樹を含めた長期的視野で取り組みを検討したい。

### 道心坂の安全確保について

Q 市道から県道への移管についての進捗と今後の見通しは。

A 県道への早期移管に向けて手続を進めているところである。



県道への移管手続が進む道心坂

### 行政手続きによる押印廃止について

Q 市税申告で押印が必要なものは何件か。

A 市税に関する申告、申請および届け出等は15件である。

### 前市長の最大の汚点、市民の対立の元となった、嵐南小中一体校の建設を振り返って

Q 学校統廃合の隠れみゝとして進められた小中一貫教育について、12年間を振り返って改善の必要はないのか検証する必要がある。前市長は当時、統廃合という一体校に賛成する人はいませんと本音を言われていた。

A 三条市の小中一貫教育について、課題の解消にも努めながら、今後も着実に取り組みを進めていくため、きめ細かな分析と検証を行っていききたい。

### 学びのマルシェは廃止すべき

Q 一人ひとりが輝く道を取るべきで、奨学金制度を工夫してもいいのではないか。どう支援できるか検討中。

### 三条市政の現状認識をたえず健全財政か。

Q 健全財政か。

A 国の4つの指標をクリアしているの

Q 財政の余裕度はどうか。

A 決して硬直化はしていない。

Q 財政上の課題と対策は。

A 少子高齢化はさまざまな施策に影響すると考える。

Q 来年度予算編成の基本的な考え方は。現在鋭意検討中である。

Q ドリンクタイムの目的は達成しているか。十分に達成している。

Q 「市役所品質」は職員の血となり肉となっているか。常時学習している。

Q 三条市立大学の開学後の収支計算は。収入面は読めるが経費面は読めない。

Q 公会計について進捗状況はどうか。今年度内に完成予定である。

### どこよりも子育てしやすいまちにどの順番で着手するのか

Q 子育て支援の5項目の具体化についてどうしていくのか。次回定例会で示していきたい。

### 帯織街苑完売のめどについて

Q 失敗事業と認め、宅建協会などから協力を得ながら思い切った完売作戦を取ってはどうか。効果的な販売戦略を検討する。

### 子育て支援・教育環境の充実について

Q 子どものインフルエンザ予防接種種・医療費助成等は、三条市の場合いくら必要で、いつ行うか。

A 子どものインフルエンザ予防接種費用は、約730万円。医療費助成の拡充分は、約4750万円。市独自の助成制度、子育て世帯への負担軽減の取り組みについては、令和3年度予算という形で、次回定例会にて皆様にお示しする。

### 國定前市長の負(正)の遺産をどのように考えるか。

Q 負(正)マイナス・プラスの質問の意味は定かではないが、直ちにマイナス・プラスという評価につながるものではないと考える。

### 市長の所信表明と選挙公約について

Q 自然と調和した新たな事業の創出では、再生可能エネルギーをどう考えているか。

A 林業振興と森林整備を基軸とした木質バイオマス発電所を平成29年度に誘致し、市内の間伐材を活用したバイオマス発電を行っている。



稼働中の木質バイオマス発電所

Q 三条市立大学で緊密に連携する企業は何社を想定しているか。現時点で100社を超える。学生

Q GIGAスクール構想に伴う環境整備を行うに当たり、公衆無線LANとして訪れた保護者や体育館利用者、災害での避難者等が自身の端末を使えるのか。

A 費用面から最低限の仕様であり、セキュリティ確保が十分でないことから提供することは適当でない。災害時にも無線LANとして提供は考えているが、国や他自治体の動向を踏まえ、セキュリティの強化等を含めてどうあるべきかを検討したい。

Q タブレット端末が配布される前に各学年に合ったインターネットリテラシー教育は行われるのか。

A 児童生徒だけでなく、保護者にも参加を呼び掛け、情報モラル講演会を実施し啓発する。今後はさらに充実した指導を行うために、現在作成中の市内統一の指導書を活用して、年度末の端末配布に合わせて指導を行う。



GIGAスクール構想で各学校に配備するタブレット端末